

一般社団法人 学修評価・教育開発協議会

令和 7 年度 事業計画書

令和 7 年度は、遠隔会議システム等を用いて教職員及び学生が交流できる事業を進めるとともに、各会員校の教育改革に資する取り組みを行う。

1. 企画調整委員会関連

○ 国内留学事業および単位互換プログラム事業の実施

単位互換協定に基づき、会員校間の学生交流を推進し、地域を越えた連携によって学生の学びがより深いものになるよう、以下のプログラムを実施する。

① 国内留学事業の実施（前期／後期）

実施予定：関西国際大学、共愛学園前橋国際大学、富山国際大学、宮崎国際大学、札幌国際大学、創価大学、松本大学

② 会員校への科目開放（対面・単位互換）

（予定科目）

- ・防災士養成講座（関西国際大学）
- ・国内のグローバルスタディー（関西国際大学）

※変更可能性あり

③ 連携開設科目

令和 6 年度から連携開設科目を開設した。令和 7 年度は 6 大学で実施する。

（開講科目）

《春学期（前期）》

- ・観光事業論（札幌国際大学）
- ・キリスト教と多文化社会（共愛学園前橋国際大学）
- ・コミュニティ防災（関西国際大学）
- ・多国言語と文化（英国）（宮崎国際大学）

《秋学期（後期）》

- ・北海道学（札幌国際大学）
- ・現代社会と聖書（共愛学園前橋国際大学）
- ・ジェンダー論（富山国際大学）
- ・人工知能とその活用（富山国際大学）
- ・データサイエンス（関西国際大学）
- ・多国言語と文化（フィリピン）（宮崎国際大学）

○ オフキャンパス報告会の実施（継続）

オフキャンパスの経験と成果、課題について学生の代表による報告とともに意見交換を行う。令和 6 年度からは対面と遠隔会議システムを合わせたハイフレックスで実施したが、令和 7 年度も対面で実施を予定。場所は交通の便を考え、東京か大阪。テーマは、地域連携に加え、グローバルな視点や国際的な観点も取り入れる。

これまでのテーマ：「グローカル」（平成 30 年度）、「社会貢献と地域連携」（令和元年度）、「社会貢献と地域連携」（令和 5 年度・令和 6 年度）

実施時期（予定）：令和 7 年 11 月～12 月上旬（雪の影響が少ない時期）

○ 共同 FD/SD の実施

会員校に共通する専門分野に係る FD、専門性の高い教職員養成に係る SD を共同で企画し実施する。

① 留学生向けのカリキュラムに関する FD

留学生の日本語能力に差がある状態で、どのようなカリキュラムを組んでいくか。リテンション対策、入学前教育や初年次教育、卒業後の日本での就職を考えた就職支援キャリア教育などについて、各大学の情報を共有する。

② 教学マネジメント（認証評価含む）に関する FD

第四期の認証評価は内部質保証の実質化が重視されるといわれている。内部質保証や教学マネジメントに学生がどう参加しているか、学修評価の可視化など、各大学の実情や問題等の情報を共有する。

③ 個別最適化に関する FD

学生の多様化が進行しているなか、初等中等教育では個別最適学習が導入されている。大学教育における個別最適学習の取組みについての共有もしくは識者の講演を実施する。

④ 部署別 SD

大学ガバナンス改革の動向、教学マネジメント、人材育成、業務改善、入試改革など、部署別のニーズに合わせた共同 SD を実施する。

○ 補助金の申請

「令和 7 年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援（メニュー 2 複数大学等連携）」補助金の申請のため、企画調整委員会の下に申請のためのワーキンググループを置き、申請作業を進める。

2. IR 研究委員会関連

○ 言語的思考力テストの共同実施

入学時に大学で学ぶために必要な言語運用力と数理分析力を診断するテストの実施。実施大学には、学生個人及び学科ごとのフィードバックあり（オプション）。

○ IR 研修会の実施

会員校の IR の取組を強化するため、各大学での IR や評価に関する先進的な取組について講演していただく。特に、IR データの学修支援や学生支援への活用など、様々な活用方法や個人情報の取り扱いへの対応について学ぶ。

実施時期（予定）：令和 7 年 8 月、令和 8 年 3 月

3. その他

- ・理事会の開催（令和 7 年 5 月 15 日、令和 8 年 3 月 予定）
- ・定時社員総会の開催（令和 7 年 6 月 20 日）
- ・各種委員会の開催
- ・各会員校で行う講演会・FD 研修会について希望に応じて配信する。
- ・新規会員校の募集
- ・情報発信

以 上